

山梨県若者海外留学体験人材育成事業 (大学生等コース)

県政の課題 (テーマ) 報告書

平成 29 年 10 月 30 日

山梨県知事 殿

本人氏名 浅川万葉

留学先 オーストラリア

留学期間 2016/11/7-2017/9/30

研究の課題 (テーマ)

自然・歴史・文化に根差した地域資源を活用し、交流人口の増加などにつながる新たな着地型観光事業を創出するための取り組みについて

提出内容

中間報告で提案した内容

中間報告では、私が拠点としていたメルボルンと山梨県を自然・歴史・文化の3つの点から比較・分析し、山梨県に活かせる部分があるか考えた。メルボルンは、毎年英経済誌「エコノミスト」の調査部門「エコノミスト・インテリジェンス・ユニット」が、世界中の140の都市を対象に安定度、保健医療、文化・環境、教育、インフラの5つのカテゴリーを評価して発表している「世界で最も住みやすい都市」に7年連続で選ばれている(2017年調査)。メルボルンはシドニーに次ぐ、オーストラリア国内で第2位の人口を有する都市であり、歴史的な建造物や文化の残る街が特徴である。オーストラリアの中で最も本土の小さい州でありながら、自然や四季の変化を楽しめるほか、観光地への移動時間も少ないといった魅力がある。

メルボルンは、地域資源を最大限に活かし、街を発展させた。中間報告では、「自然」「歴史」「文化」の3点に焦点を置き考察し、山梨県と比較するとともに交流人口などの増加につながる着地型観光事業についてまとめた。



添付書類

詳細について、図・表・写真などの資料も含めてA4縦版5枚以内にまとめて報告してください。

※パソコン・ワープロの使用可(使用する文字は12ポイントとしてください。)

※図・表・写真等を用いて可

事後報告では、その内容をさらに実現化できるかを考察するとともに、新たな提案をしていきたい。

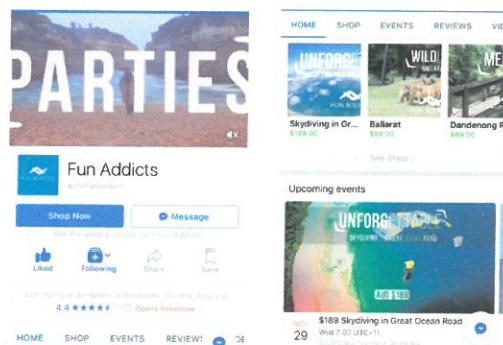
「自然」について

・ ツアーなどの一覧できるページ作り（SNS の活用）

- まず、どのようなツアーがあるのかを収集する必要がある。この問題点として不公平にならないように、大きいツアー・小さいツアーに関わらず、全て把握する必要がある。そのため、ひとつのサイトに県内のツアーをまとめるのは難しいと考える。そのため、ホームページ上の情報だけでなく、SNS を活用した新たな情報発信を提案する。

オーストラリアのツアー会社では、このような観光客に向けたツアー情報を Facebook で公開している。私がオーストラリアにいる間、活用していた” Fun Addicts” のアカウントは、毎月決まったツアーを投稿、共有している。予約から振込みまで Facebook 上で完了が可能であることが手軽で魅力である。チケットも携帯で管理されるため、席が空いていれば前日に予約することができる。オーストラリアで Facebook は、連絡を取るツールであり、様々な情報を提供するツールでもある。

しかし、日本で Facebook はあまり普及されていない。日本で多く利用されている LINE や Twitter を活用することで購読者の興味・関心を得ることが出来ると考える。そのため、特設の LINE や Twitter 公式アカウントを作り情報を提供することで多くの人に知っていただけるきっかけになるのではないかと考える。



毎週、スカイダイビングなどのアクティビティや世界遺産であるグレートオーシャンロードのツアー、ワイナリーツアーなど行っている。

・ 学生／地域限定通訳案内士を中心としたツアーの考案、実施

- 昨年から本格的に始まった地域限定通訳案内士の取り組み。通訳案内士の方と協力し、さらに多くの外国人観光客向けのツアーの考案が必要である。現在、地域限定通訳案内士の第2期生までの講義が修了した。多くの通訳案内士は、「一般社団法人 富士の国やまなし通訳案内士会」に属し活動している人が多い。まず、「富士の国やまなし通訳案内士会」に所属する通訳案内士は、どのように活動し活躍しているのか、多くの人に知ってもらうことが大切だと考える。山梨県内

の企業や旅行代理店に知ってもらい、つながりが持てるようになることで、この外国人観光客向けのツアーは今後山梨県の強みになるだろう。

現在「富士の国やまなし通訳案内士会」の公式ホームページでは、青木ヶ原樹海のためのツアーが準備されている。受け入れ態勢が整うであろうツアーの多くは、富士山付近であると考えられる。昇仙峡や甲府城にも目を向け、甲府市内の観光にも力を入れ多くの外国人観光客の誘致に繋げていきたい。さらに、この取り組みを拡散するため Facebook や Twitter の公式ホームページを設立し多言語での情報発信が求められるだろう。

私自身も山梨県の地域限定通訳案内士の資格を取得したいと考えている。実際に、山梨県について学び知り、外国人観光客へ自然あふれる山梨県の魅力を伝えていきたい。

「歴史」について

・新たな歴史の伝承方法（地域限定通訳案内士、山梨県立大学新たな学科、観光コース等の活動）

➤ この取り組みも、上記（自然について、学生／地域限定通訳案内士を中心としたツアーの考案、実施）に大きく関わってくる内容である。山梨県は、都会から少し離れた場所であるにもかかわらず壮大な自然あふれていることが強みである。歴史という視点から考えても、戦国武将・武田信玄や甲府城など誇れる歴史的建造物や自然に触れることが出来る、山梨県を巡るツアーを考案する。

・定期的な日帰りツアー

➤ 東京都から近い山梨県で多くの人が山梨県の魅力を再発見できるようなフットパスツアーを提案する。

帰国後、私は「甲府開府 500 年事業」の一環で、水に関連する山梨県の歴史について Facebook を活用した情報発信を行っている。現在、私たちは「開府 500 年 Switch to the future」という Facebook ページを設立した。私は、日本で唯一城の中で温泉を楽しむことが出来た「甲府城内温泉」の記事作りに励んでいるとともに、海外の人にも山梨県の魅力を伝えることが出来るように英語の翻訳も担当している。

実際に、取材を行う中で今まで私の知らなかった山梨県の歴史や、山梨県議会議事堂下から発掘された甲府温泉の遺構など、極めて重要な歴史に触れることが出来た。このような再発見された山梨県の歴史的魅力は多くある。その魅力をフットパスツアーにすることで、観光客だけでなく地域住民の方々でも気軽に参加できるツアーがあれば多くの人の関心を得られるだろう。



開府500年 Switch to the Future

Create Page @username

Add a button



Publish



Photo



Promote



Edit Page

Community organisation

開府500年 Switch to the Future
Posted by Saie Arano
1 November at 13:34

山梨の「水」の魅力って何？
「水」の歴史って、聞いたことはあった？
え？ 山梨って「水」が有名なの知らなかったの？

そう！
山梨は、「ミネラルウォーター」「温泉」の源郷が沢山！
天然水で作られた地酒も美味しい！
そしてさらに！！
実は、ミネラルウォーターの生産量No.1！

多くの人に、このような「知られざる山梨」を届けたい！
特に、山梨の「水」に関連した、「歴史」に思いを馳せてもらいたい！

そんな強い思いをもった、県内の学生が動き出しました！

ところで、私たちは一体何者か？
山梨が大好きな、山梨県立大学吉田研究室を母体とする学生団体です！
主に観光を通じた地域振興に取り組みできました！

これまで学生主体で、2020年の東京オリンピックに向けて、「外国人一人歩きマップ（英語版）」の作成や、オーダースタイルで英語の出前講義を行う「カタコト英語プロジェクト」に取り組んできました！

開府500年 Switch to the Future
Posted by Saie Arano
1 November at 13:34

二重さ 500年 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

일본 2020년 4차선 500년 Switch to the Future, 韓半島 2020년 4차선 500년 Switch to the Future

Japanese yamanashi is the famous area of Mt. Fuji, grapes, peaches and pears.
In that case, what is the charm of the "water" in yamanashi?
Oh! Didn't you know the "water" is a famous area?
Yamanashi Prefecture is a lot of the source of the "Mineral water", Production, and the source of the "hot spring", is a lot of sources.
Also, there is also a local wine which is made of natural water.
I'd like to tell many people about this "unknown" Yamanashi.
Especially, I'd like to have a "history" related to the "water" of yamanashi prefecture.
The students in the middle of this idea began to move!
By the way, what kind of students do we have?
It is a student organization that is working on the center of the university of yamanashi prefecture.
I've been doing activities for tourism and regional promotion.
So far, for the 2020 Summer Olympics, a map of the "English" for foreign residents in the 2020 Year-old, "English" is a simple English word project.

「文化」について

・東京オリンピックに向けてのおもてなし向上

➤ 私がオーストラリアへ渡豪する前に、プロジェクトリーダーを務めていた「カタコト英語プロジェクト」は、おもてなし向上を視野に入れた県民運動のひとつとして、高い評価を頂くことが出来た。

カタコト英語プロジェクトは、2020年の東京オリンピックを視野に入れ、東京から近い山梨県でも外国人観光客を迎える準備が必要であった。私たちは山梨県の飲食店や販売店を中心に、接客のための英語テキストを作り、出前講義を行った。私が担当した店舗では、従業員も外国人観光客も大変喜んでくれており、昼晩ごはんの二回来店してくれたお客様がいたと聞いたときはとても嬉しかった。

現在もこの取り組みは、続いている。まずは、2020年の東京オリンピックに向けて受け入れ態勢を整えて、多くの外国人観光客に日本のおもてなし文化を体験してほしい。

・SNSの活用（イベントの情報発信）

➤ 「甲府開府500年事業」で、Facebookを活用した情報発信を行っている（歴史について、定期的な日帰りツアー）。現在、私たちは日本語の他に、英語・韓国語・ベトナム語の配信を準備している。今後も、開府500年に向けて水に関する様々な情報を多言語で配信し、どのような結果が出るか調査していく予定だ。

【新たな提案】

和婚を通じたウェディング（ハネムーン）ツアーの提案

私は、私自身の留学テーマであった「和婚を通じたウェディング（ハネムーン）ツアー」を山梨県で実現することで、県から頂いたテーマである、自然・歴史・文化を根差した地域資源を活用した新たな着地型観光に貢献できるのではないかと考えている。また、その取り組みが山梨県の交流人口増加につながればよいと考えている。

オーストラリアへ行き、私の友達の結婚式やウェディング学校へ通っている際に見た結婚式は、私の課題であった他宗教間の結婚式の参考になった。日本は島国であるため、海外からの異文化が入ってくるのが遅かったため、結婚式は昔からの主流であった神前式や仏前式などが多かった。今日では、異宗教の新郎・新婦でも挙式を行えるプロテスタントのキリスト教式や参列したゲストが証人となる人前式が多く行われている。実際に、異宗教間で結婚したカップルは、二回挙式を行うことが多いということも学んだ。一回目は新郎の信仰に基づいた方法で、二回目は新婦の信仰に基づいた方法でと、二回挙げることが主流であることがわかった。さらに、外国人は和服に興味・関心があることは、和服を世界に広めようと活動している人が行っているイベントやジャパンフェスティバルを見て学んだ。

私は、着物や袴などを活用した「和婚を通じたウェディング（ハネムーン）ツアー」を提案する。神前式・仏前式は、しきたりや進行も複雑であるため気軽に挙式することは難しい。一方で、京都や金沢では、着物や浴衣を着て観光することが現代のトレンドである。白無垢や色打掛のような本格的な和服ではなく、簡易に日本文化に触れることが出来る着物や浴衣を提供し、四季折々の自然や歴史的建築物などを巡るツアーを行うことで、山梨県の魅力を新たな形で配信できるのではないかと考える。また、オプションでカメラマンの同行などがあるとより思い出に残る素敵なツアーが提案できると考える。

【結果】

SNS を活用した情報発信は、今後の山梨県の大きな強みになるだろう。海外からでもアクセスできるように多言語で情報配信を行うことで、新たに外国人観光客が増えるだろう。さらに、地域限定通訳案内士が同行したツアーを増やすことで、「自然」「歴史」「文化」の三点をカバーでき、交流人口につながる新たな着地型観光に繋がるだろう。

今回頂いた貴重な経験を活かし、現在行っている「甲府開府 500 年事業」や 2020 年東京オリンピックに向け、観光事業やおもてなし向上に貢献できるように努めます。